

## サステナビリティ推進データ

### サステナビリティ行動計画 2023年度～

マテリアリティ（経営の重要課題）の見直しに合わせて、2023年度以降のサステナビリティ行動計画の見直しを行いました。そのため2023年度以降の目標と2022年度の実績とが別表記となっています。（実績▶P.139～144）

分野	課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	中長期目標
人が活きる環境の創造	★ モノ・コトづくりのクオリティの追求 ★ イノベーションの推進と新しい価値の創出  7 8 9 12	中期経営計画2025 参照  2023年5月10日開示・中期経営計画2025 説明資料 <a href="https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/">https://ir.okamura.co.jp/library/managementplan/</a>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 企業の成長を支える多様な働き方に応えるソリューションの提供</li> <li>● 小売業が抱える社会問題の解決とみらいの店づくりの研究・開発</li> <li>● スマート物流に貢献する製品・サービスの開発</li> <li>● 産業車両向けの環境対応型製品の開発</li> </ul>	顧客・社会への新たな価値提供による「人が活きる社会の実現」
	★ 安全な製品・サービスの提供  9 12	重大製品事故発生件数  * 重大製品事故の定義：当社製品により、生命・身体に重大な被害を及ぼした事故、および製品以外の財産に火災等の重大な被害を及ぼした事故	0件	—
地球環境への取り組み	★ サークュラーエコノミーの推進  3 6 7 9 12 13 14 15 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 省資源・廃棄物削減による資源循環の推進</li> <li>● 製品開発における環境配慮型企画と設計推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 生産系廃棄物の社内完成高あたり前年度比<b>1%</b>の排出量原単位低減</li> <li>● グリーンウェーブ・グリーンウェーブ+製品開発率の向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2030年度生産系廃棄物の2020年度比<b>9%</b>の排出量原単位低減</li> <li>● —</li> </ul>
	★ 持続可能な自然資源の利用と保全  6 12 13 14 15 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 森林資源の持続可能な利用の推進</li> <li>● 環境影響度の低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 木材利用方針に基づいた利用率集計</li> <li>● 前年度比<b>1%</b>の水資源使用量原単位低減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● —</li> <li>● 2030年度<b>10%</b>の水資源使用量削減（2020年度比）</li> </ul>
	★ 気候変動問題への貢献とカーボンニュートラルの実現  7 9 13 15 17	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 地球温暖化防止対策の推進 温室効果ガス排出量低減 燃料系エネルギー使用量低減 エネルギー生産性向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● グループ全体で<b>1,000t-CO<sub>2</sub>/年</b>の排出低減 工業用燃料使用量 5年度平均<b>1%</b>低減 車両用燃料使用量 5年度平均<b>5%</b>低減 エネルギー生産性 前年度比<b>1%</b>向上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 2030年度温室効果ガス排出量<b>50%</b>削減（2020年度比）、2050年カーボンニュートラルを目指す</li> <li>● 2030年度エネルギー生産性向上<b>10%</b>（2020年度比）</li> </ul>
	ものづくりでの環境保全活動  3 6 9 11 12 14 15	環境影響度の低減	前年度比 <b>1%</b> のPRTR排出・移動量原単位低減	2030年度 <b>10%</b> のPRTR排出・移動量原単位削減（2020年度比）
	環境汚染の防止  3 6 11 12 14 15	汚染予防・有害化学物質対策	大気汚染・水質汚濁・土壌汚染防止 法令遵守（有害物質の管理と削減）	環境法令の遵守と情報収集

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

分野	課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	中長期目標
従業員の 働きがいの追求*	★ Work in Life（ワークインライフ）の 推進  3 8	従業員満足・エンゲージメントの向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>働きがい向上施策の実施</li> <li>エンゲージメントサーベイの実施</li> </ul>	—
	★ DE&I（ダイバーシティ、エクイティ& インクルージョン）の推進  5 8 10	女性従業員比率	(2024年度までに <b>22%</b> )	2024年度までに <b>22%</b>
		女性管理職比率	<b>6.5%</b>	2024年度までに <b>7%</b>
		新卒女性採用比率（大卒）	(2024年度までに <b>40～50%</b> )	2024年度までに <b>40～50%</b>
		男性育休取得率	<b>65%</b>	—
		障がい者雇用率	<b>2.50%</b>	—
	★ キャリア形成支援と専門人材育成の 強化  4 8	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成面談実施率</li> <li>強みにつながる専門職への各種施策の実施</li> <li>オカムラ ユニバーシティ受講アンケート「今後のキャリアに活かせる」</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li><b>100%</b></li> <li>専門職の技術とスキルの把握</li> <li>満足度<b>80%</b></li> </ul>	—
	健康と安全に配慮した職場づくり  3 8	年次有給休暇平均取得率	<b>80%</b>	—
		一般定期健康診断受診率	<b>100%</b>	<b>100%</b>
		ストレスチェック受検率	<b>100%</b>	<b>100%</b>
		喫煙率	<b>26%</b>	2025年度 前年より <b>-1%</b>
		「積極的支援」「動機づけ支援」の対象者比率（40歳以上の健診受診者）	各 <b>9%</b> 以下、 <b>5%</b> 以下	2025年度 各 <b>8%</b> 以下、 <b>5%</b> 以下
チームワークによる業務の遂行  8 17	話し合い*実施率	<b>100%</b>	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています

※対象範囲：オカムラ単体

\*話し合い：職場課題や環境の改善のための全社取り組み（詳細 ▶ P.90）

分野	課題（重要課題は★）	KPI	2023年度目標	中長期目標
責任ある企業活動	★ 公正・透明・誠実な行動 5 8 10 16 17	サステナブル調達調査 実施率	取引金額ベースで <b>67%</b>	—
		サステナブル調達 実地監査 実施率	ハイリスクサプライヤーに対して <b>100%</b>	
		人権教育（社内）の実施と充実、サステナブル調達との相乗効果	購買関連部門へ教育実施	
		入社時および新任役職者向けコンプライアンス教育実施率	<b>100%</b>	
		コンプライアンス研修の充実	各種コンプライアンス教育の実施	
	★ リスクマネジメントの強化 10 11 16	<ul style="list-style-type: none"> <li>● BCP（災害）構築</li> <li>● 各国要請に合わせた個人情報管理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ハザードマップ（地震・洪水）の見直し</li> <li>● 諸外国の同法規則対応</li> </ul>	—
★ 適正な情報開示とステークホルダーとの対話 16 17	ステークホルダーとの対話継続と取り組みへの反映	ESG 関連各外部有識者とのステークホルダーダイアログ実施	—	
地域社会との共生 17	戦略的社会的貢献活動の定着	従業員参画型社会的貢献の実施	—	
コーポレート・ガバナンス 5 8 10 16	取締役会の多様性、独立性、客観性の充実によるガバナンス強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 独立社外取締役<b>100%</b>の維持</li> <li>● 女性取締役比率<b>25%</b>（3/12）以上</li> </ul>	—	

上記数字のマークは関連するSDGsを示しています